

事業者名	香川県								
機器名	レーザー顕微鏡								
写真									
特徴・用途	レーザー顕微鏡は、微小領域の高解像度画像観察や、3D形状、表面粗さなどの測定を非接触かつ精密に行うことができる装置であり、素材(金属材料、ポリマー材料、高密度繊維、フィルム)、電子部品(基盤、MEMS)、半導体(ウェハ)、金属加工(砥石、加工面、メッキ)などの評価に用いる。								
設置場所	香川県産業技術センター								
利用状況	年月	稼働日数 (日)	依頼試験・ 依頼分析 (件)	技術指導 (件)	試験設備貸出・利用		受託研究・ 共同研究 (件)	その他 (件)	利用件数 計(件)
					件数(件)	時間(時間)			
	平成28年8月	5	0	0	2	0	0	3	5
	平成28年9月	2	0	0	2	0	0	0	2
	平成28年10月	5	0	2	0	0	0	3	5
	平成28年11月	6	0	2	2	0	0	2	6
	平成28年12月	10	0	1	0	0	0	9	10
	平成29年1月	13	0	0	2	0	0	11	13
	平成29年2月	6	0	1	0	0	0	5	6
	平成29年3月	6	0	0	2	0	0	4	6
	平成29年4月	6	0	0	2	0	0	4	6
	平成29年5月	13	0	1	1	0	0	11	13
	平成29年6月	16	0	0	2	0	2	12	16
	平成29年7月	6	1	0	0	0	0	5	6
	平成29年8月	2	0	0	0	0	2	0	2
	平成29年9月	11	0	1	2	0	5	3	11
	平成29年10月	9	0	1	2	0	4	2	9
	平成29年11月	11	0	1	0	0	7	3	11
	平成29年12月	4	0	0	1	0	1	2	4
	平成30年1月	9	0	0	0	0	7	2	9
平成30年2月	12	0	1	0	0	10	1	12	
平成30年3月	8	2	0	2	0	1	3	8	
利用者等の声	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電子部品(基板等)の観察や寸法測定等を効率的に行えるようになった。</li> <li>・機械加工面や工具の評価を精密に行えるようになった。</li> <li>・これまでできなかった、フィルム等の三次元表面粗さ測定を行うことができるようになり、自社製品の評価方法が確立された。</li> <li>・操作方法も比較的簡単なため、はじめてでも利用しやすい。</li> </ul>								
補助事業概要 の広報資料	<a href="http://hojo.keirin-autorace.or.jp/shinsei/document/list/kikai/h28/pdf/28-059koho.pdf">http://hojo.keirin-autorace.or.jp/shinsei/document/list/kikai/h28/pdf/28-059koho.pdf</a>								